『農業経営者』読者の会 会報

Club BUSINESS FARMERS

CONTENTS

アグロ・イノベーション 2008 同時期開催
第 18 回定例セミナー プログラム
8〜9 月のセミナーご案内
7 月の活動・参加申込書

Vol.11 2008年7月1日発行
■発行・編集／㈱農業技術通信社『農業経営者』読者の会 事務局（担当：長谷川）
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-18-25 康洋ビル9F TEL 03-3360-2697 FAX 03-3360-2698

アグロ・イノベーション2008同時期開催
第18回定例セミナー プログラム

主催／株式会社農業技術通信社
協賛／AGCグリーンテック株式会社
後援／日本温室協議会

土地利用型から施設園芸へ
～シナジー効果のある複合経営の展開～

読者の会では08年7月16日（水）、アグロ・イノベーション2008にあわせて第18回定例セミナー「土地利用型から施設園芸へ～シナジー効果のある複合経営の展開～」を幕張メッセで開催する。これは土地利用型農業経営者を対象に、施設園芸を導入するメリットや可能性を提案すると共に、実際の複合経営モデルや克服すべき課題について、すでに導入済みの農業経営者や施設園芸資材メーカーと情報交換する場を提供するのが目的だ。

まず講演として、テーマ通りの経営展開を実践している㈲米シスト庄内代表取締役 佐藤彰一氏にお話を頂く。パネルディスカッションには、土地利用型から施設園芸に参入した農業経営者3人、㈲正八代表取締役 宮川正和氏、㈲三輪農園代表取締役 三輪民雄氏、㈲久保田農場代表取締役 久保田清五郎氏を招待。3人の詳しい経営モデルは本誌89～92ページにレポートした。こちらも併せてご覧頂きたい。

スケジュール	
15:00～15:05	開会の言葉 ◎挨拶：月刊『農業経営者』編集長 昆吉則氏
15:05～15:45	講演『土地利用型から施設園芸へ ～シナジー効果のある複合経営の展開～」 ◎講師：(有)米シスト庄内 代表取締役 佐藤彰一氏
15:45～16:00	質疑応答
16:00～16:05	休憩
16:05～17:20	パネルディスカッション 『私が施設園芸に参入した理由(仮)』 ◎パネリスト：宮川正和氏、 三輪民雄氏、久保田清五郎氏
17:25～18:00	総括＋協賛企業から 『新規参入へのバックアップ (仮)』
18:15～20:00	懇親会

2008年 7月16日(水)
(15:00～18:00)
※懇親会(会費別途)18：15～20：00
幕張メッセ
国際会議場
中会議室303

招待券プレゼント

アグロ・イノベーション2008 同時期開催

2008年7月16日 水

会場／幕張メッセ 国際会議場 中会議室 303　時間／ 15:00～18:00

講師・パネリスト紹介

講師 佐藤彰一氏

㈲米シスト庄内 代表取締役

●PROFILE
1954年山形県生まれ。95年米シスト庄内乾燥調整利用組合を設立。98年販売のための法人である(有)米シスト庄内を設立。庄内米の生産・加工・販売から始めて、高齢者マーケット向け商品「玄米主義・すっぴん煎」の開発・生産・販売を手がける。その後、端境期を狙った早出しブルーベリーの生産・有利販売・加工事業に展開している。

●経営概況
コメ93ha、ハウス3800㎡。

パネリスト 宮川正和氏

㈲正八 代表取締役

●PROFILE
1962年生まれ。東京農業大学を卒業後、大潟村第一次入植者の父のもとで就農。コメ政策が転換期を迎えていた94年に2正八を設立。97年には稲作をやめ、野菜や花卉などで新経営を目指す。

●経営概要　大豆5ha、カボチャ10ha、バレイショ2ha、加工トマト3ha、苗1ha、ハウス約10500㎡（花・野菜苗、パプリカほか）。施設園芸の作業人数は、常雇用2人、パート10人。

パネリスト 三輪民雄氏

㈲三輪農園　代表取締役

●PROFILE
1953年群馬県生まれ。農協職員を経て、37歳で就農。麦と水稲の栽培面積を拡大する一方で、水耕栽培を複合させることにより、リスク分散型の経営モデルを確立させている。

●経営概況
水稲12ha、麦30ha、ハウス4,000㎡（水耕ミツバほか）。施設園芸の作業人数は、家族3人、常雇用2人、パート10人、他1人。

パネリスト 久保田清五郎氏

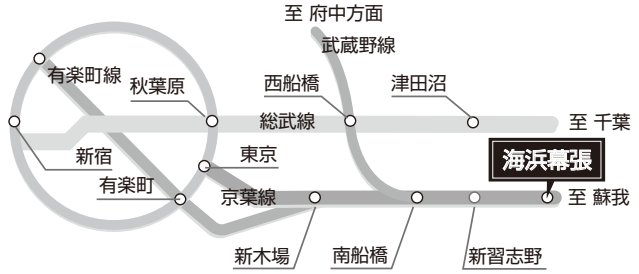
㈲久保田農場　代表取締役

●PROFILE
1952 年生まれ。地域で水稲の育苗や作業受託を一手に引き受けるほか、野菜部門も分業制で経営。町内会長、農業委員、市の農政審議委員をつとめるなかで、歯に衣着せぬ率直な意見を述べる。

●経営概況
水稲 30ha、水稲作業受託 20ha、種子大豆 10ha、水稲播種 12 万枚・育苗 2 万枚、ハウス約 1ha(大玉トマト、中玉トマト、調理用トマト、水菜)。施設園芸の作業人数は、家族 2 人、常雇用 1 人、パート 2 人。

会場へのアクセス

◎路線図



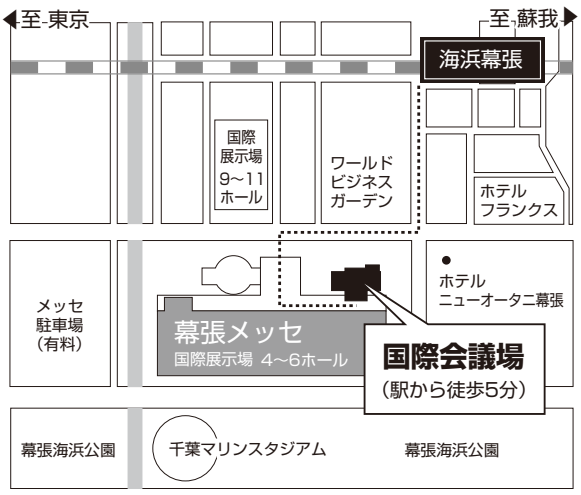
▶東京駅より、JR京葉線各駅停車にて31分

東京 —31分 450円→ 海浜幕張

▶羽田空港より連絡バスにて約60分

羽田 —60分 1,120円→ 海浜幕張

◎地図



2008年8～9月 定例セミナー のご案内

2008年8月29日 金 16：00～18：00

会場／㈱農業技術通信社内セミナールーム

オカルト農法探検隊への招待
～科学的に解明できない農法教えます！～

【講師】後藤芳宏 氏（ごとう・よしひろ）
農援隊代表

PROFILE●1966年東京都生まれ。椿本チェイン社で生産管理システムのプログラマー、パイオニア・ハイブレッド・ジャパン社でファーティゲーションの開発営業、ケーアイ・フレッシュ・アクセス社での中国産地開発の担当、国会議員秘書を経て農援隊を設立。本誌にて「オカルト農法探検隊」を好評連載中！

科学的に解明できない農法を、まじめに追究する「オカルト農法探検隊」に読者をご招待。軍事目的に利用されていた言霊エネルギーを利用した農法とは？天皇家に伝承されている秘術の農法とは？ 斎庭稲穂の神勅に示されていた農業のあるべき姿とは？などなど、怪しすぎて活字にできないネタを大公開！

2008年8月8日 金 16：00～18：00

会場／㈱農業技術通信社内セミナールーム

農場は人が創る
～農業でプライドをどう表現できるか～

【講師】永井進 氏（ながい・すすむ）
㈲永井農場 専務取締役

PROFILE●1971年長野県生まれ。酪農学園大学短期大学卒業後、20歳で就農。長野県東御市で酪農と稲作の複合経営に取り組みながら、従来の大規模経営とは異なる農場発展の可能性を模索している。若手ならではの農場づくりを綴った「永井進の農場スタイルノート」を、本誌にて好評連載中。

20歳で就農後、まず自主販売米のパッケージをデザインした永井氏。26歳で農場のコンセプトを形にした管理棟を建築。最近ではワイン文化の形成を意識したワインプロジェクト、小学校との稲作交流などの「農場づくり」から職業人の誇りを発信している。若手の「後継者」が挑む、新しい農場経営を語る。

2008年9月26日 金 16：00～18：00

会場／㈱農業技術通信社内セミナールーム

ファーミング・エンターテイメント
～腹ではなく心を満たす農業ビジネス～

【講師】白石好孝 氏（しらいし・よしたか）
体験農園「大泉 風のがっこう」園主

PROFILE●1954年東京都練馬区生まれ。77年東京農業大学卒業、1年後に就農。97年市民参加型の体験農園「大泉　風のがっこう」の運営を始める。2003年NPO法人「畑の教室」を設立。著書に『都会の百姓です。よろしく』(コモンズ)、共著に『体にやさしい・おいしい野菜のつくり方ー農家のコツ教えます』(西東社)。

土を耕し、肥料を入れ、種を播き、自然に実が大きくなって収穫するというのは、農家にとって当り前の行為だろう。そんな単純な作業そのものを、体験農園に来るお客様は新鮮な感覚で受け取ってくれる。農業に感動や癒しが求められている今、体験農園を新しいビジネスとして進化させた白石氏が、心を満たす農業のありかたを提案する。

2008年9月4日 木 16：00～18：00

会場／㈱農業技術通信社内セミナールーム

遺伝子組み換え作物のリスク情報管理
～消費者の意識をいかに変えるか～

【講師】小島正美 氏（こじま・まさみ）
毎日新聞編集委員

PROFILE●1951年愛知県生まれ。愛知県立大学卒業後、毎日新聞社入社。松本支局、千葉支局などを経て、現在は東京本社生活家庭部編集委員。主に環境や健康、食の問題を担当する。著書に『リスク眼力』(北斗出版）など。

遺伝子組み換え作物について、食の不安を煽るようなメディアが氾濫している。ところが栽培現場を本気で取材している記者は少ない。いたずらに不安を増幅するのではなく、どのようにリスク情報を消費者に伝えるのか。GM先進国を取材した最新情報をもとに、メディア・行政・農業者など多様な視点から消費者の意識をいかに変えるか提案する。

※翌日9月5日には、日本モンサント㈱茨城・河内研究農場にて、遺伝子組み換え作物圃場見学会を実施します。あわせてご参加下さい。

2008年7月の活動 定例セミナー

2008年7月16日（水） 15：00〜18：00

会場／幕張メッセ 国際会議場 中会議室 303

土地利用型から施設園芸へ
〜シナジー効果のある複合経営の展開〜

【講師】佐藤彰一氏（さとう・しょういち）
㈲米シスト庄内 代表取締役

【パネリスト】
宮川正和 氏 ㈲正八 代表取締役
三輪民雄 氏 ㈲三輪農園 代表取締役
久保田清五郎 氏 ㈲久保田農場 代表取締役

アグロ・イノベーション2008同時期開催

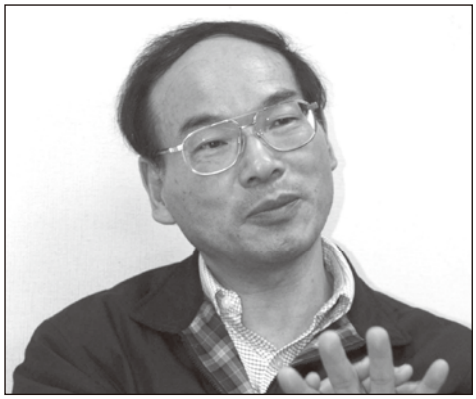
経営環境が変化する中では、経営モデルを変えていく必要があります。佐藤彰一氏は2002年、先駆けて高齢者マーケットに着目し、お年寄りでも食べやすい玄米商品を開発。06年には早出しブルーベリーで施設園芸に参入、端境期を狙った有利販売を実現。07年には、大手にはできないブルーベリージャムの製品化に成功。講演では、佐藤氏がシナジー効果のある複合経営を語ります。パネルディスカッションには、土地利用型から施設園芸に参入した農業経営者3人を招待。新規参入を考える皆様の課題に答えます。

2008年7月4日（金） 16：00〜18：00

会場／㈱農業技術通信社内セミナールーム

必要なものを効率よく入れる施肥設計術

【講師】関祐二氏（せき・ゆうじ）
農業コンサルタント



PROFILE●1953年静岡県生まれ。東京農業大学において実践的な土壌学に触れる。75年より農業を営む。営農を続けるなかで、実際の農業の現場において土壌・肥料の知識がいかに不足しているかを知り、民間にも実践的な農業技術を伝播すべく、84年より土壌・肥料を中心とした農業コンサルタントを開始。

「土を調べて必要最低限の肥料を施す」——この基本技術を押さえているだろうか。土の中の成分を科学的に調べると、かなりの畑が尿素単肥や硝酸石灰の施用だけで健全で多収量になり、成分過剰害を抑えられる。この秋以降の肥料高騰を迎える前に、必要なものを効率よく入れる施肥設計を習得したい。

◎セミナー参加申込

月刊『農業経営者』定期購読者 **無料**

■参加を希望する項目に☑して、必要事項をご記入下さい。

〈セミナー〉	〈セミナー終了後の懇親会〉
□ **7/4 （金） 関 祐二**氏（16：00〜18：00）	□ 参加（18：00〜20：00）
□ **7/16（水） 佐藤彰一**氏（15：00〜18：00）	□ 参加（18：15〜20：00）
□ **8/8 （金） 永井 進**氏（16：00〜18：00）	□ 参加（18：00〜20：00）
□ **8/29（金） 後藤芳宏**氏（16：00〜18：00）	□ 参加（18：00〜20：00）
□ **9/4 （木） 小島正美**氏（16：00〜18：00）	□ 参加（18：00〜20：00）
□ **9/26（金） 白石好孝**氏（16：00〜18：00）	□ 参加（18：00〜20：00）

※セミナー受講料は定期購読者無料、一般参加者5,000円です。
※セミナー終了後には、**懇親会**（会費別途）を予定しております。

◎定期購読申込

■いずれかに☑して、必要事項をご記入下さい。

□ **1年**（12冊） **18,000円**
送料サービス！

□ **2年**（24冊） **33,000円**
お得な3,000円割引！

□ **3年**（36冊） **48,000円**
お得な9,000円割引！

◎メールマガジン登録

■下記にメールアドレスをご記入の上、メルマガ登録に☑してください。

◎招待券請求

□ **アグロ・イノベーション2008**（2008/7/16〜7/18開催）

お名前	会社名 農場名	TEL
E-mail □メルマガ登録		FAX
ご住所 〒		

お申込方法 FAX **0120-410-359** まで送信してください。
（『農業経営者』HP **http://www.farm-biz.co.jp/** からもお申込できます）

お問合せ/（株）農業技術通信社「農業経営者」読者の会 事務局TEL 0120-555-184

※セミナーへの無料参加は、定期購読1件につき、1名様までです。2名様以上でお申込される場合、2人目より2,000円をいただきます。予めご了承下さい。